

第6期 第3号(第2刷)
2016年2月6日発行

古賀市議 ぬま健司のニュースレター

私のFacebookには古賀市や議会に関する情報がたくさんアップされています。ぜひ見てください！



ホームページ numakenji.jimdo.com/
Facebookも活用しています。

ぬま健司後援会事務所

古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103

電話/FAX: 092(944)2639

古賀市議会議員
奴間 健司

健康寿命延伸を徹底視察 古賀市に活かせ！松本市の先進事例



菅谷昭市長と面談(2015年10月20日・松本市役所にて)

私は昨年10月20~22日、健康寿命延伸を推進する長野県松本市を視察。チェルノブイリ被害者の治療も行った医師で、12年間にわたって健康を切り口に市政を担ってきた菅谷市長と面談。さらに地区担当保健師の活動や地域づくりセンターを視察してきました。その成果に基づき、昨年12月16日の一般質問で中村市長に提言しました。このニュースレターで概要を報告します。

私は松本市の視察報告会を昨年11月以降、各公民館などで行っています。市民の理解があつてこそ古賀市で健康寿命延伸の取り組みが可能となるからです。プロジェクターを活用して説明しています。小学校区単位に保険者まちづくりコーディネーターを配置するという私のビジョンについてご意見をいただいています。



各公民館でスライド使って報告

1月20日に介護予防に力を入れている埼玉県和光市を視察しました。ホームページに報告をアップしています。

古賀市のまちづくり 今が大事な岐路

2025年問題に備え、健康づくりと地域づくりに力点を置いたまちづくりを



地区担当保健師が必要だが人数が不足している。その補充、計画的確保はどうするのか？

私と中村隆象市長との議論の様子は、古賀市議会インターネット録画の動画で見ることができます。

小学校区に保健師と担当職員配置を！ くらしを支える行政システムが不可欠



私は昨年の12月議会で「生活の質の向上」をめざす都市イメージを提言しました。そのポイントは以下の通りです。

- ①小学校区単位に担当保健師を配置する。
- ②自治会やコミュニティをサポートするコーディネーター的職員を小学校区単位に配置する
- ③健康づくり推進員を各行政区から2名推薦し、市長が委嘱する「非常勤職員特別職」とし明確な位置づけとする。
- ④産業力が後押しできるよう各事業者との連携を密にする。

古賀市は住民の熱意はあるが、行政によるサポート体制が確立していません。そこで2025年までに「健康と地域」を重視する古賀市を実現しないと、市民を守ることはできません。

「生活都市」を作り上げたい。今からダイナミックな戦略を立て発展めざす。

保健師の育休中の補充は任期付常勤職員とする。適正配置はさらに研究したい。

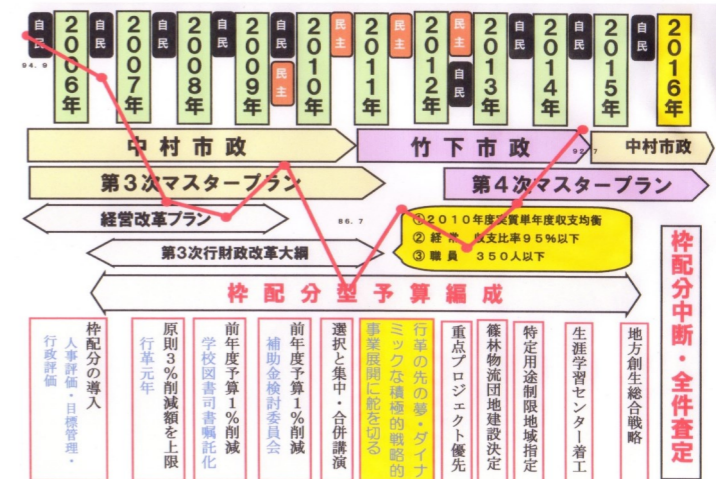
※任期付保健師8人募集に対し応募は2人。(1月20日時点)欠員は続く結果に。



▼この写真は2015年12月16日の一般質問のひとコマ。質問する私と答弁する中村市長です。

一般質問の全記録をパンフレットにしました。メールいただければお送りします。(PDFでも可)

過去10年 明確なビジョン描けず 2025年に備え、大きく舵をきる時



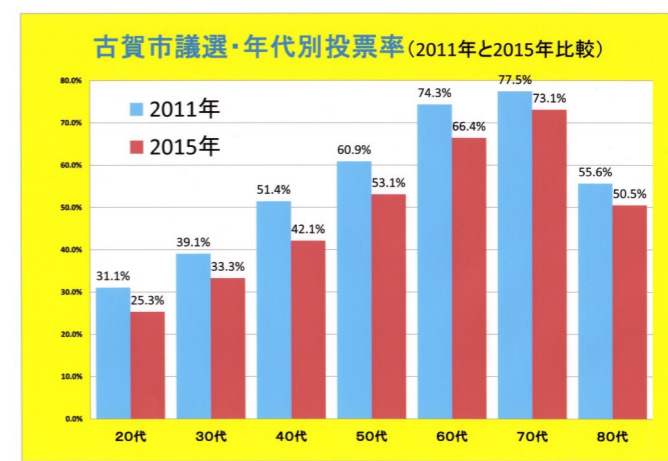
古賀市の過去10年は、松本市と比べると「一貫したビジョン」ありませんでした。左図は古賀市の行財政運営の経過をまとめたものです。

かつての小泉改革、今日の「地方創生」など国の政策に振り回されてきました。詳しくは一般質問全記録をご参照ください。(私のホームページから読めます)

健康と地域づくり 校区担当の正規保健師が必要不可欠

「任期付」(3年期限)では地域課題の把握と対応は困難

18歳選挙権 若者の政治参加拡大へ 異議あり! 投票時間の2時間短縮



このグラフは最近2回の古賀市議選の年代別投票率です。若いほど低くなっています。背景には、学校での主権者教育の不足、非正規雇用など生活の不安定、政治家の質の低下等が考えられます。今年夏の参院選から18~19歳も新たに投票できます。若い人の政治参加が期待されます。

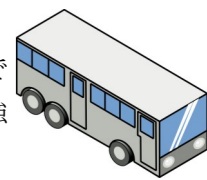
2時間短縮 白紙撤回を!

一方、古賀市選管は、今年夏の参院選から投票日の投票時間短縮を20時から18時に2時間短縮する方針を決めました。福岡県内の市では古賀だけです。この2時間の投票者数は約1800人。選挙権拡大の流れに逆行していないでしょうか? 12月議会でも2議員が一般質問で取り上げました。私はFacebookなども活用し、若者に古賀市の政治が身近に感じてもらえるよう今後も努力していきます。

地域公共交通 議会全体で提言めざす 利用しやすいバス路線 小回りのきく手段も模索

古賀市議会は議会基本条例の施行に伴い、議会として政策提言をめざす政策推進会議を立ち上げました。私が議長時代の2015年には、災害時の議会対応要綱と行動マニュアルを策定しました。2016年には市民の切実な願いである「地域公共交通」を取り上げます。

高齢化社会には利用しやすいバス路線が必要不可欠です。今のままでは不便すぎます。これ以上市民に我慢を強いることのないよう、総力を挙げて取り組みます。



議会改革度 九州・沖縄で第1位 早稲田大学マニフェスト研究所が評価(2014年)

私が議長在任中の2013年、2014年の議会改革度調査で古賀市議会は高い評価を頂きました。インターネット議会中継、議会基本条例、議会報告会、看護大学とのパートナーシップ協定などが主な要因。これらは今も継続されています。月刊「ガバナンス」12月号に詳しく紹介されました。その結果、視察が多くなりました。うれしいことです。

私は昨年、五島市議会や糸島市議会、筑紫野市等で議会改革に関する講演を行いました。今年も全国に発信します。

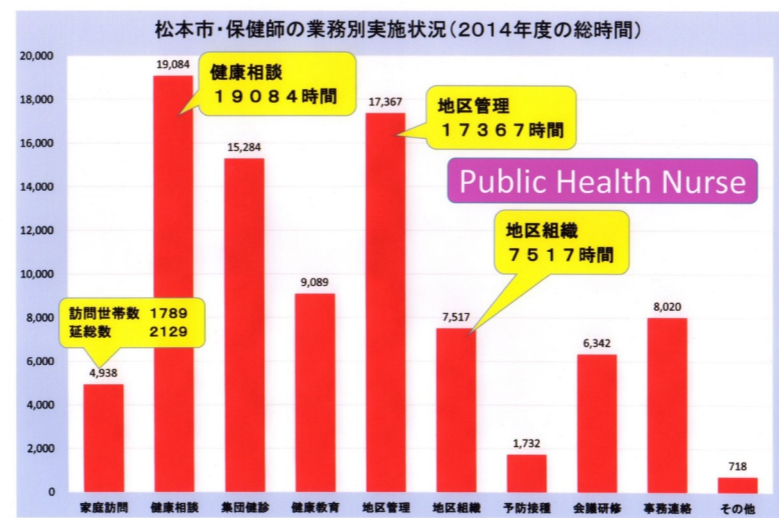


糸島市議会での講演(2015年8月)

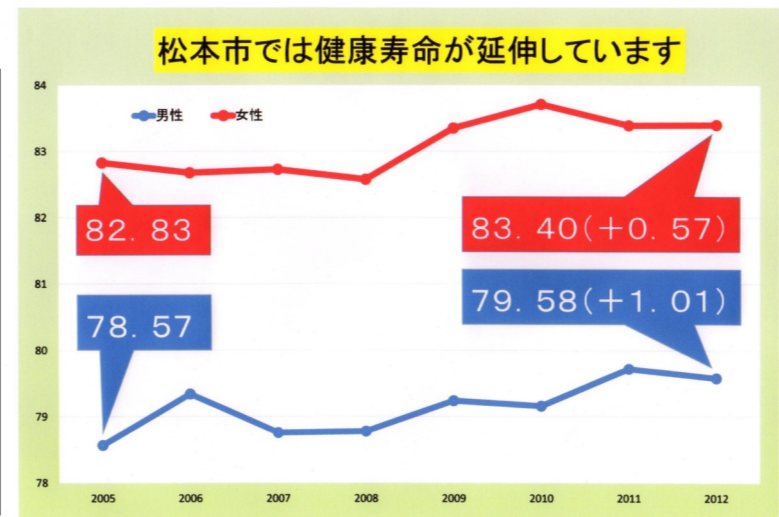
市役所で働く保健師さん 古賀市と松本市を徹底比較

- 松本市の保健師一人あたりの人口は約4400人。古賀市では約14600人と大きな差がある。
- 松本市では小学校区に一人の保健師が数年担当。古賀市では一人の保健師が2~3小学校区を担当せざるを得ず大変な負担。
- 松本市では育休対応は枠外の正規保健師でも対応。古賀市では3年期限の任期付常勤保健師で対応しようとしています。募集しても応募は少なく欠員状態が続きます。
- 松本市では新人保健師を1年間指導するプリセプター制度が導入されている。古賀市の体制ではその余裕がない。
- 松本市では小学校4年生、中学校2年生は血液検査で生活習慣病対策を実施。地区担当保健師が年1回、学校で健康教室を行っている。

松本市では、市民一人が受ける保健活動は年間23分。古賀市では推計で7分と差があります。



松本市では、過去8年で健康寿命が伸びています。古賀市では健康寿命の把握はこれからです。



松本市の医療費は古賀市より2万円安く、特定健診受診率も1.7倍以上。

	古賀市	松本市
国保一人あたり医療費(2014年度)	35万円	33万円
特定健診受診率	24.6%	43.4%

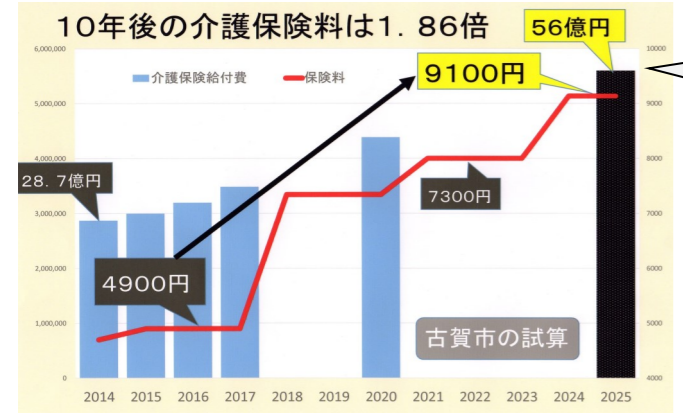
松本市の先進例

古賀市の特徴

健康づくり部署	古賀市	松本市
正規保健師	4人	42人
役付き	0人	9人
育休中	3人	10人
嘱託・臨時	0人	13人
合計(実働)	4人	55人
保健師一人当たり人口	14,576人	4,394人

●一方、古賀市の良いところは、骨密度測定が地域、学校、職場等で年間5000人を超えていること、福岡女学院看護大学との連携があること、各公民館でのヘルス・ステーションが立ちがり始めていることなどが挙げられます。

古賀市の推計 65歳以上が毎月払う介護保険料 10年後には、現在の4900円が9100円にアップ



こんなことになったら市民の暮らしも、古賀市の財政も大変なことになります!

だから、今から健康寿命延伸、介護予防、子どもの頃からの生活習慣病予防が必要なのです。市民総ぐるみの取り組みを始めましょう!それをサポートする地区担当保健師等の配置が欠かせないのです。